

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

天気予報で「今日の降水確率は三〇パーセントです。」とあつたら、傘を持って出かけますか？ 二〇パーセントだったら？ 七〇パーセントだったら？ 降水確率がどうであれ、傘を「 X 」か「 Y 」か、行動の選択肢は二つしかない。傘を三〇パーセントだけ持つていくことはできないのである。

人間は二分法が好きだ。「陰と陽」「男と女」「右派と左派」「上と下」「敵と味方」「我らと彼ら」などなど、どの文化にも二分法はあふれている。現実には、たいていの物事はもつと複雑で、そんなにきれいに分かれるものでもない。しかし、人間が最終的な意思決定をするときには、多くの事柄が、傘を「 X 」か「 Y 」かのように二者択一となる。そうすると、人間にとって、そもそもいろいろなものを二つのカテゴリーに分ける方が、心地よいのではないだろうか？

たいていの物事を、三つに分けたり四つに分けたりするのが当たり前、という文化はないのではないか？ 「ない」と自信をもって言えるわけではないのだが、非常に少ないと思う。

ところで、商品を買うとき、たとえ自動車などの高価なものであっても、その商品の機能その他に関する情報が、たくさんあればあるほど適切な判断ができるかという点、そうではない。また、人は、商品に関する情報がうんとたくさんあればあるほどうれしいということもない。

情報が少なすぎると困るのだが、あり過ぎると、それも嫌う。これも、どうせ「買う」か「買わない」か、行動の選択肢は二つしかないのだから、適当なところで腹をくくりたくなるのだろう。

選挙でも、結局はこの候補に「投票する」か「投票しない」か、選択肢はふたつである。しかし、支持・不支持がよほど明快でない限り、人は、普通は迷うだろう。そして、候補者の意見その他の情報が多くあればあるほど、決めがたいと思ったり、あちらの候補が四〇点、こちらの候補が六〇点ぐらいに感じたりして迷うに違いない。

こうして見てくると、人間は、情報がたくさんあると二者択一の判断をしにくくなる。そして、そんな状況に陥るのは不快で、簡単に二者択一で判断したいという欲求がある、と言えそうだ。

学問の営みは、いろいろな問題とその状況に疑問を差し挟み、対象をよくよく調べることで、二分法で単純な解釈はできないことを示し続けてきたのだと思う。人種という単純なカテゴリーは存在しない、男と女、と明確に分けられるものでもない、意見の相違を「敵と味方」と単純に分けてしまうと本質を見失うなどなど。

このような学問の成果を本当に取り入れるためには、立ち止まってじっくり考えなければならぬ。ところが、商品の説明があまり多すぎると嫌われるように、人間は、あまり多くの説明をされることは嫌いなのだ。とすると、じっくり考えて学問の成果を取り入れるのは、人間にとって、はなから心地よい作業ではないのだろう。

しかし、そこをなんとかというか、いやでもじっくり考えねばならないという「良識」があつた。少なくとも少し前までは。これを大きく壊したのがネットだろう。ネットの世界は、飛び交う文章も短いし、同じ考えを表明する仲間たちだけで意見を増幅し合うので、二分法と二者択一が専横する。ネットの世界では、長々とした説明は不人気、単純明快な主張で人々に二分法を押し付ける。というか、二分法であつさり決着をつけたいという人々の本来の欲望に、すっかり乗っかっているのだろう。

極端な意見は昔からあつた。それを、ある意味で爽快だと思つ風潮も昔からあつた。しかし、そういうふうな感情に任せてしまうのはよくないという歯止めが、社会のどこかに確かに存在した。ネットは、そんな歯止めをなくし、なくてもいいのだと思わせている。

(長谷川眞理子『モノ申す人類学』による)

問一 問題文に二つずつある  X  Y に入る適当な言葉を答えなさい。

問二 ——— 線部「人は、商品に関する( )うれしいということもない」とありますが、それはなぜですか。理由を答えなさい。

問三 ~~~ 線部 a 「カテゴリー」とありますが、これは「範囲」という意味で、「リー」で終わる外来語です。「リー」で終わる次の 1~5 の外来語の意味を漢字の熟語で表現するとうなりですか。後のア~キから最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- |   |       |   |       |   |       |   |      |   |       |
|---|-------|---|-------|---|-------|---|------|---|-------|
| 1 | ストーリー | 2 | エントリー | 3 | リカバリー | 4 | セオリー | 5 | ミステリー |
| ア | 回復    | イ | 決定    | ウ | 参加登録  | エ | 神秘   | オ | 出入口   |
|   |       |   |       |   |       | カ | 物語   | キ | 理論    |

問四 ~~~ 線部 b 「腹をくくりたくなる」とありますが、次の 1~5 の意味になる言葉を「腹」を用いて答えなさい。

- 1 相手にかくさずに本心を打ち明けることのとえ。
- 2 失敗や始末などの責任を取って辞任することのとえ。
- 3 大事のためには、小さな犠牲を払うのもやむを得ないというたとえ。
- 4 他人の心中をそれとなしにうかがうことのとえ。
- 5 見たことや聞いたことなどを自分だけの秘密にしておくことのとえ。

問五 ~~~ 線部 c 「専横」の「横」と同じ意味で「横」が用いられている言葉を、次のア~カからすべて選び、記号で答えなさい。

- |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 横行 | イ | 横断 | ウ | 横転 | エ | 横暴 | オ | 横領 | カ | 縦横 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

二 次の1〜7は、動物を季語としてふくむ俳句を春から冬、新年の順に並べたものです。それぞれの□に当てはまる動物を後のア〜コから選び、記号で答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

- 1 直線のあつまりて街□来る 津田絵理子 (春)
- 2 □のすつかり浮いてから泳ぐ 高田正子 (夏)
- 3 線香のけむりのような□かな 金子敦 (夏)
- 4 ぴいと啼く尻声悲し夜の□ 松尾芭蕉 (秋)
- 5 丘の上に雲と遊びて□肥ゆる 森田峠 (秋)
- 6 □や大きくなりし夜の山 三橋敏雄 (冬)
- 7 木屑より出て□の髭うごく 福田甲子雄 (新年)

- ア 伊勢海老 イ 牛 ウ 馬 エ 亀の子 オ 水母  
 カ 鹿 キ 雀 ク 燕 ケ 泥鰌 コ むささび

三 次の1〜5の□に入る動作を表す言葉を、ひらがな三字でそれぞれ答えなさい。

- 1 暗がりから聞こえるうなり声に、身の毛も□思いがした。
- 2 血気に□若者たちが、感情にまかせて起こした事件だ。
- 3 ゲームをしすぎると、勉強に支障を□だろう。
- 4 ヒーローとして大切なのは、弱きを助け強きを□ことだ。
- 5 もうやめようとの思いが脳裏を□たび、打ち消してきた。

四 次の1〜3の各組にある□には、ひらがなが一つ入ります。他と違うひらがなが入るものを、それぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- 1
 

|   |      |       |   |       |      |
|---|------|-------|---|-------|------|
| ア | い□わる | (意地悪) | イ | そこ□から | (底力) |
| ウ | ち□む  | (縮む)  | エ | はな□   | (鼻血) |
| オ | ま□か  | (間近)  |   |       |      |
- 2
 

|   |       |       |   |      |      |
|---|-------|-------|---|------|------|
| ア | うわ□み  | (上積み) | イ | き□く  | (築く) |
| ウ | て□くり  | (手作り) | エ | ふみ□き | (文月) |
| オ | りくつ□き | (陸続き) |   |      |      |
- 3
 

|   |        |       |   |      |      |
|---|--------|-------|---|------|------|
| ア | うす□り   | (薄氷)  | イ | お□さま | (王様) |
| ウ | すど□り   | (素通り) | エ | と□あさ | (遠浅) |
| オ | みやこお□じ | (都大路) |   |      |      |

五 二字の熟語の中には、「消火」(火を消す)、「発熱」(熱を発する)のような組み立てのものがありません。「消火」「発熱」と同じ組み立ての熟語を次のア〜コからすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 運送 イ 恩師 ウ 解放 エ 学者 オ 兄弟  
 カ 集金 キ 洗顔 ク 全力 ケ 走行 コ 読書

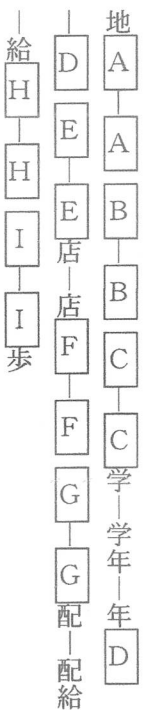
六 次の1〜3の各文には、パソコンで間違っまちがて変換へんかんされた言葉が一つずつふくまれています。間違っている言葉をさがし、正しく書き改めて答えなさい。

- 1 新たに指名された総理大臣の初心表明演説が支持できるものか、クラスメイトと授業中に議論した。
- 2 不足の事態に備えて多めに人手を確保していたことが、災害を乗り切ることのできた理由だ。
- 3 初夏の低温や初秋の害虫の異状な発生が要因となって、昨年は西日本で米の生産量が落ち込んだ。

七 次の1〜8の言葉のたとえとして用いることができる言葉を後のア〜クから選び、記号で答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

- |   |         |   |          |   |     |   |    |
|---|---------|---|----------|---|-----|---|----|
| 1 | お世辞     | 2 | 群衆       | 3 | 静けさ | 4 | 疲れ |
| 5 | 突然      | 6 | 変化       | 7 | 理解  | 8 | 労働 |
| ア | 芋を洗うよう  | イ | 手に取るよう   |   |     |   |    |
| ウ | 猫の目のよう  | エ | 歯が浮くよう   |   |     |   |    |
| オ | 馬車馬のよう  | カ | 降つてわいたよう |   |     |   |    |
| キ | 水を打ったよう | ク | 綿のよう     |   |     |   |    |

八 次の漢字しりとりを、「条件」に合わせて完成させなさい。



- 〔条件1〕 同じ漢字を二回以上用いてはいけません。  
 〔条件2〕 A〜Iの字はすべて四画です。  
 〔条件3〕 A〜Iのそれぞれの字は二回とも同じ読み方です。  
 〔条件4〕 A〜Iの読み方は、次から選びなさい。同じものはくり返して使えません。  
 (力、ギユウ、ク、シ、シュウ、シン、スイ、ナイ、ブン)  
 〔条件5〕 示されている字の読み方は、一回目と二回目とが同じ場合も異なっている場合があります(学・年・店・配・給)。

